



ギガ ~変わる教育~ GIGA スクール構想



ギガ GIGA スクール構想って？

2019年12月に文部科学省が打ち出した「GIGAスクール構想」。
GIGAスクール構想とは、文部科学省が推進する「児童生徒1人1台の端末と高速大容量の通信ネットワークを整備し、教育環境の更新を図る取組」のことです。

分かりやすく説明すると「これからの時代に向けた教育環境の整備を行い、子ども一人ひとりに合った最適な教育を、全国で実現させる構想」です。

これまでの教育で「ノートと筆箱」が必需品だったように、令和を生きる子どもにとってパソコン等の端末は欠かせないものとなりました。

こんなタブレット端末を使っています



Chromebook (クロームブック)

起動が早く快適に動きます。
水滴や衝撃に強いなど、子どもたちが使用する環境に適した端末です。

松浦市ではスマートフォンと同じ通信方式を採用しており、Wi-Fi環境がない場所でも使用できるのが特長です。

1人1台端末になるとどんなメリットがあるの？

一斉指導による学びの場面



子どもたち

写真や動画などを活用することで、授業に対する興味・関心を高めることができます。

先生

授業中にシミュレーションなどのデジタル教材を用いることで、子どもたちの思考や活動が活発になります。

作成したデータをそのまま共有できるので、教材準備に要する時間を短縮できます。

個別学習の場面

氏名	確認テスト		ドリル学習		学習履歴 確認回数
	実施回数	平均点	学習回数	平均点	
	6	56.4	17	75.3	2
	6	84.5	28	85.8	10
	8	72.8	29	80.6	4
	5	40.6	11	56.4	2
	8	68.4	9	72.8	6
	7	71.2	19	73.2	1
	6	70	32	83.2	未学習

子どもたち

インターネットを利用して、調べ学習がよりしやすくなります。

家庭でもタブレットを利用した学習ができます。

先生

小テストを行い、子どもたちの学習履歴の活用（学習理解度を知ること）により、一人ひとりの学習内容の定着度を即座に把握し、補充指導に活かすことができます。

協働的な学びの場面



子どもたち

タブレットや電子黒板を活用することで、子どもたちがそれぞれの考えをリアルタイム（即時）で共有できるようになり、発表や話し合いが活発になります。

先生

アンケート型のワークシートを用いることで、短時間で子どもの理解状況を把握することができます。



タブレット端末を使った授業をのぞいてみよう！

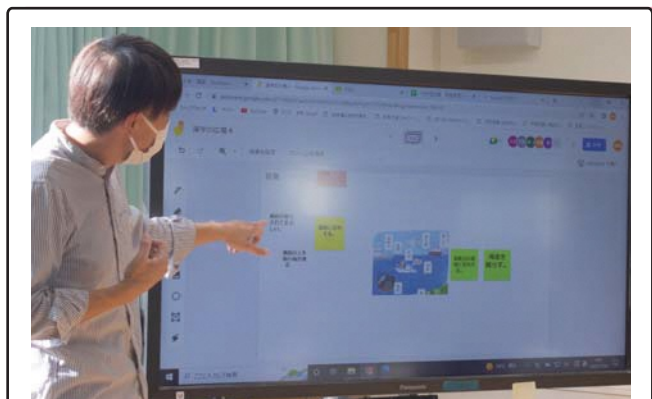
小学校編



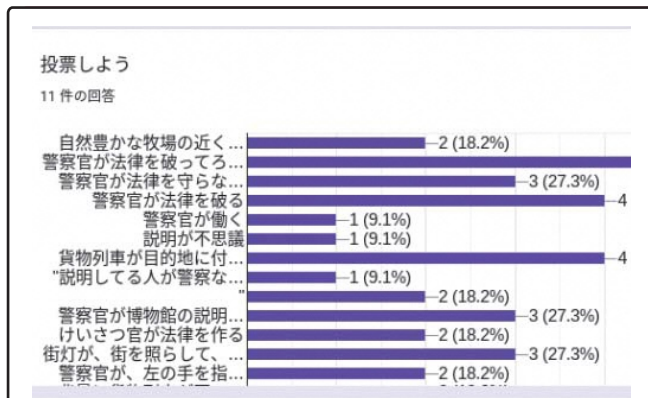
①実際に児童がタブレットを使って書いている様子
②お手本どおりにできたら、はなまる判定



タブレットで漢字の書き方を予習・復習できます。正しい書き順、とめる・はらうなどができているかをAI機能が正確に判断してくれます。



電子黒板に、児童の意見が実際に映し出されている様子



クラスでどんな意見が出たかを一斉に見ることができたり、回答ごとにグラフでデータ化し、児童一人ひとりの多様な考えを共有できます。

鷹島小学校 5年 大石 華さん

授業中に分からないことがあったらタブレットを使ってすぐに調べられるので、分からないまま授業が進んでいくことが少なくなりました。

みんなが考えた答えを一斉に共有することができるので、自分では思いつかなかった考えを知ることができて、とても参考になっています。

タブレットを使ってみて



具体的に子どもたちがどのような授業を受けているのか見ていきましょう。

長崎県「学びの活性化」プロジェクトのモデル事業指定校に選ばれた鷹島小学校・御厨中学校を事例として掲載します。

同事業は、ICTでの交流を深めながら、学校外での自主的な学習の充実を図り、子どもたちの「学びに向かう力」を育成することを目的としています。

※ ICTとは、「Information and Communication Technology」の頭文字をとった略語＝「情報通信技術」のことです。

中 学 校 編



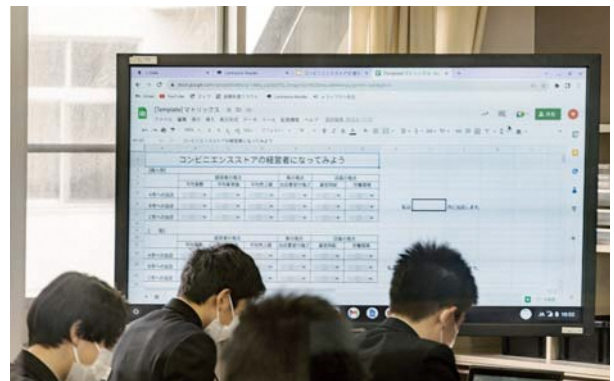
電子化された教科書では、詳しい内容を項目別に表示したり、分からない単語をすぐに検索することができます。



電子黒板を活用し、生徒と同じ教科書画面を使って授業の流れを説明することで、生徒が授業の流れを理解しやすくなります。



班で意見を発表した後、個人の回答を電子黒板に提出。一斉に回答をみつめて、他の人がどんな意見を持っているのかすぐに共有することができます。



授業に必要な資料は、共有機能を通してすぐに生徒の元へ届けられます。

タブレットを使ってみて



御厨中学校 3年 松坂 咲良さん

授業では、タブレットを使ってみんなの意見を共有したり、名前を出さずに回答したりできるので、気軽に意見を出し合ったり、自分では思いつかない考えを知ることができてとても参考になっています。

タブレットの中には、1～3年生までの問題が5教科すべて揃っているので、気になる教科の予習を試してみたり、自分のペースで自主学習ができ、受験勉強もはかどりました。



御厨中学校
校長 福永 真

道具の活用と使い方

タブレット端末などが普及し、これらをノートのように使いこなし、さらに応用的な活用が求められる社会となっている現在。生徒たちは社会に出て、さまざま道具を使いこなしていかなければいけません。道具には、使う場所・状況に応じた正しい使い方があるため、使い方についても、生徒たちへ伝えていかなければいけないと感じています。関係機関や保護者の皆さんと情報を共有しながら、教員一同、より良い方法を日々研究していきます。

子どもたちの意欲とその先に

現代の子どもたちにとって、タブレットは紙と同様、身近なものとなっています。

アプリで書き順の正誤を判断してくれる漢字の書き順勉強など、タブレット端末だからできる自主学習方法もあり、紙媒体と併用することで子どもたちの学習意欲が伸びているように感じます。

今後は、子どもたちの「自ら学ぶ力」を育てるために授業と家庭学習を連動させ、効率的にタブレット端末を活用できるよう研究していきます。



鷹島小学校
校長 古里 拓也

実際に現場に立って教える先生にもインタビュー

タブレットを使い始めて変わったところは？

共有、回答機能があるおかげで、自ら手を挙げて発表することが苦手な子の意見や、正しい答えなのか不安で言えなかった意見などを拾い上げることができるようになりました。また、子どもたちそれぞれがみんなの回答を確認する機能もあるので、いままで意見が思いつかなかった子も、先に思いついた子の意見を参考に、回答することができています。

課題はありますか？

タブレットを使いすぎると、視力の低下や、端末に依存してしまうのが心配ですね。あくまでも学習の道具の一つとして、他の学習方法とのバランスを大事にしています。

苦労したことはありますか？

職員自身も、子どもたちと同時にタブレットを使い始めており、一緒に使い方を学びながら、授業への活用方法を日々研究しています。子どもたちに操作方法を身につけさせるためには、職員自身が操作方法を学ばなければいけなかったのが、導入の時期はとも苦労しました。

しかし、タブレットに慣れてからは、文章を挿入したり、移動したりが簡単にできるので、効率よく文章の添削などができるようになり、業務的なメリットも感じています。



鷹島小学校
摩嶋 俊祐 先生

よくある質問 Q & A ～保護者の皆さんの気になるところ～

Q1 何年生から使うのですか？

小学校 1 年生から授業などで使用しています。

Q2 タブレットのインターネット通信量は制限がありますか？

月に 5 ギガまで使用できます。また、ご自宅に Wi-fi 環境がある場合は、接続が可能ですので、制限を気にせず使用できます。

Q3 子どもが授業以外のことに使いませんか？（動画やゲーム、SNS など）

学校で配布する端末には、セキュリティー対策ソフトや、有害サイトへのアクセスをブロックしたり、SNS を使えないようにしたりするなどのフィルタリング制限がされています。

Q4 子どもたちの使い方のルールはありますか？どうやって管理していけばいいですか？

活用する中で、よりよいルールづくりに取り組んでいきます。端末を持ち帰り学習することもありますので、家庭でも、お子さんへ端末の正しい使い方について呼びかけなどをお願いします。

ICT は、あくまでも子どもたちの学習をサポートする手段の一つに過ぎません。

「人間としての力」などを培っていくためには、これまでと同様、先生や友だちとのコミュニケーションが重要ですし、読み書きなどの基礎的な学びについても、学習方法は変わりません。

教える先生側も新たな学習方法を一から研修し、子どもたちにどうやったら分かりやすいか、どう伝えるのが最適なのかを試行錯誤しながら一緒に頑張っています。

先生たちと子どもたちも共に成長し、一人ひとりがその子らしくより良い学びになるように、教育現場も時代にあわせて変化しています。

市では、今後も確かな学力を身に付けられるよう、子どもたちに寄り添った支援をしていきます。

問 教育総務課総務係 ☎ 内線 345

